

## 平成30年度 新城市若者予算事業に関する答申書

新城市若者議会は、若者総合政策の実施に関して、平成30年度若者予算事業計画を策定しましたので、新城市若者議会条例第2条第1号に基づき、以下のとおり答申します。

平成30年度新城市若者予算 予算総額 7,702千円

1. 新城市若者議会PR事業 1,784千円

若者議会の理解者を増やすため市内向けの広報活動を推進します。また、広報PR外部団体設立のための基盤構築を行います。

2. ふるさと納税リニューアル事業 361千円

ふるさと納税の寄附の使い道の明確化やPR方法の見直しにより、全国に新城市の魅力を今以上に発信し認知度向上と経済活性化を目指します。

3. 若者アウトドア観光事業 1,309千円

市内外に新城のイイトコを発信し、新しい楽しみ方を提案することで、若者や市民がその魅力を発見・体感できる事業を行います。

4. 図書館リノベーション事業 461千円

これまで行われたリノベーションの更なる充実を図ります。また、若者議会発案イベントの継続実施を望みます。

5. ハッピーコミュニティ応援事業 1,136千円

まちなみ情報センターが市民にとって身近な交流スペースとなるように、環境整備、きっかけづくり、認知度向上に取り組めます。

6. いきいき健康づくり事業 0千円

バブルサッカーなどを取り入れた、若者の生活習慣改善につながる健康教室を健康課にて継続して下さい。

7. 地域と関わる若者防災事業 1,136千円

若者の防災意識を0から1以上に向上させるために被災地派遣を行い、若者と地域の人と一緒に防災について話す場を作ります。

8. 地域でおしゃべり事業 530千円

若者の福祉への関心を高め、福祉業界の担い手不足の解消のきっかけ、若者、高齢者、子育て世代の地域における世代交流を行います。

9. 教育ブランディング事業 643千円

先進地への視察、若者や市民に向けた講演会、小中学生へのアンケート調査を行い、シティズンシップ教育のカリキュラム化を目指します。

10. 若者消防団員加入促進事業 342千円

若者の消防団入団を促すため、非消防団員(29歳以下)に対して消防団についての意識調査・分析を実施します。

平成29年11月2日

新城市長

穂積亮次様

新城市若者議会

議長 加藤稜唯